

やってみよう!!
ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを作って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、デビュー5周年を迎えたアイドルグループ「銀山ボーイズ」のお話です。どんなアイドルか、早速読んでみましょう。

説明を聞きながら銀山ボーイズを見守る参加者たち=いずれも史跡・生野銀山



朝来 鉾山の歴史も学ぶ

丹波市の会社員中山昌之さん(42)、祐子さん(42)夫妻は3回目の来訪。昌之さんは「案内してもらったのは初めてだが、よく分かっている楽しかった」と笑顔で話した。祐子さんは「それぞれの役割や全体の物語が作り込まれていてすごい。ボーイズをきっかけに鉾山で命がけの作業がされていたことなども知ることができた」と満足そうだった。(小日向務)

この日は、大阪や神戸、姫路、丹波などから10人が参加した。同施設の運営会社「シルバー生野」の妹尾高明社長らから、鉾山の歴史やボーイズの活動、エピソードなどを聞きながら、坑道や展示施設を巡回。それぞれのお気に入りのおマネキの前で、記念撮影する参加者もいた。

「銀山ボーイズ」 5周年で再始動

3年ぶりイベントに10人参加

史跡・生野銀山(朝来市生野町小野)の展示マネキンによるアイドルグループ「銀山ボーイズ」がデビュー5周年を迎え、9日、展示施設で記念行事「感謝ですツアー」があった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、本格的なイベントは約3年ぶりの開催となり、さらなる飛躍を誓った。



最後には、参加者と銀山ボーイズらで記念撮影もした

7月10日の朝刊にのった記事

①デビュー5周年を迎えた生野銀山の「銀山ボーイズ」とは何ですか

②銀山ボーイズはどんな経緯で誕生し、どんな活動をしてきましたか

③本格的な見学行事が開かれたのは3年ぶりですが、なぜですか

④来場者は銀山ボーイズから、どんな思いを受け止めていましたか

⑤あなたの身近な場所に、生野銀山のような地域の歴史を伝える近代遺産はありますか。調べて、現地を訪ねてみましょう

答えは31日の「週刊まなびー」にのるよ。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて7月30日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

17日週刊まなびー

ワークシートの
解答例

- ①豪雨(大雨)の被害で、西日本の14府県で304人が犠牲になった
- ②広島県、岡山県、愛媛県の3県で、今も計112人が仮設住宅などで「仮住まい」をしている
- ③つらい経験を教訓にする▽地域の自助共助を図る▽薄れゆく記憶や防災への意識を次世代につなごう
- ④自由記述